

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

- 昭和 26 年 6 月 愛知県より菊武タイピスト学校（現：菊武ビジネス専門学校）設置認可
- 昭和 28 年 2 月 愛知県より学校法人高木学園（現：菊武学園）設立認可
- 昭和 37 年 4 月 守山女子商業高等学校（現：菊華高等学校）開設
- 昭和 40 年 4 月 名古屋女子商科短期大学（現：名古屋経営短期大学）開設
- 昭和 43 年 4 月 守山女子商業高等学校に通信制課程開設
- 昭和 44 年 4 月 菊武幼稚園開設
- 昭和 63 年 4 月 名古屋女子商科短期大学に経営情報科開設
- 平成 4 年 4 月 守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、全日制課程普通科開設。
- 平成 7 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンス開設
- 平成 12 年 4 月 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部開設
- 平成 16 年 4 月 名古屋産業大学大学院前期（修士）課程（環境マネジメント研究科）開設
名古屋産業大学環境情報ビジネス学部に人間環境マネジメント学科増設
- 平成 19 年 4 月 名古屋経営短期大学ビジネス実務学科・人間情報学科の募集を停止し、2 学科を統合した形の総合ビジネス学科を開設。
名古屋産業大学大学院後期（博士）課程（環境マネジメント研究科）開設。
名古屋経営短期大学子ども学科開設。
- 平成 20 年 4 月 名古屋経営短期大学健康福祉学科開設。
- 平成 23 年 4 月 稲葉保育園開設、菊華高等学校にスポーツアクトコース開設
- 平成 24 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンスの校名を変更
専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院に改称する。
- 平成 26 年 4 月 名古屋経営短期大学総合ビジネス学科の募集を停止し、未来キャリア学科開設。
- 平成 27 年 2 月 菊華高校通信制課程普通科（単位制）開設認可
- 平成 29 年 4 月 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部を現代ビジネス学部へ改称
- 令和 2 年 3 月 名古屋産業大学現代ビジネス学部に経営専門職学科設置認可申請

2. 設置する学校の学部、学科および各学校の入学定員、現員数

平成 31 年 5 月 1 日現在

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
名古屋産業大学大学院	環境マネジメント研究科	前期課程 10 人	20 人	5 人	10 人
	環境マネジメント専攻	後期課程 3 人	9 人	0 人	3 人
名古屋産業大学	現代ビジネス学部				
	現代ビジネス学科	190 人	770 人	169 人	556 人
名古屋経営短期大学	未来キャリア学科	100 人	200 人	80 人	168 人
	子ども学科	80 人	240 人	45 人	110 人
	健康福祉学科	60 人	120 人	32 人	67 人

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
菊華高等学校	全日制課程情報ビジネス科	270 人	810 人	40 人	131 人
	全日制課程普通科	90 人	270 人	237 人	698 人
	通信制課程商業科	150 人	450 人	106 人	366 人
	通信制課程普通科(単位制)	80 人	240 人	11 人	58 人
菊武幼稚園		69 人	209 人	71 人	217 人
菊武ビジネス専門学校	商業実務専門課程	80 人	80 人	22 人	22 人
	商業実務高等課程	240 人	720 人	106 人	366 人
専門学校名古屋リエンジニアリング &フラー・ビューティ学院	商業実務専門課程	160 人	280 人	135 人	241 人
	文化教養専門課程	40 人	80 人	18 人	38 人
合 計		1,622 人	4,498 人	1,072 人	3,065 人

3. 役員に関する事項

当学園の令和2年3月31日現在の選任区分別理事及び監事は以下のとおりです。

寄附行為の理事定数は8~11人、監事定数は2~3人で、欠員はありません。

- 1号理事（教職員）： 高木 弘恵、山岸 鳴門、鈴木 悦子
 2号理事（評議員）： 渡邊 哲郎、山口 淳
 3号理事（学識経験者）： 井元 明正、吉田 雅樹、岡谷 篤一、高木 清秀、伊藤 雅一
 監 事： 青木 修（常勤）、那須 國宏（非常勤）

令和2年3月31日付けで非常勤監事の澤田忠男氏より辞任の申し出があり、受理されましたので、監事は青木 修 氏と那須 國宏 氏の2名になりました。

4. 評議員に関する事項

当学園の令和2年3月31日現在の選任区分別評議員は以下のとおりです。

寄附行為の評議員定数は、19~24人で、欠員はありません。

- 1号評議員（法人職員）： 高木 清秀、山口 淳、石原 靖章、内山 哲治
 松原 伸一、神谷 篤、豊田 久美子、中川 信子
 2号評議員（学園卒業者）： 浅井 明己、大石 清美
 3号評議員（学識経験者）： 高木 弘恵、渡邊 哲郎、高木 重幸、池田 英二、竹内 隆史
 平本 晴康、高木 秀典、原田 隆史、大嶋 啓介、市橋 豊、
 杉山 寿美、志水 暎子、須崎 徳之

5. 教職員・その他に関する事項

令和2年3月31日をもって、名古屋産業大学学長の高木 弘恵氏の任期が満了となる事に伴い、令和2年2月13日に開催された学長選考委員会において次期学長候補者として高木 弘恵氏が選考され、令和2年3月27日開催の評議員会・理事会で再任が決議されました。

II. 事業の概要

1. 令和元年度の入学者数

令和元年度（平成 31 年 4 月）の入学者数は、大学が大学院も含めて 174 名、短大が 157 名、高校（全日制・通信制）が 394 名、幼稚園が 71 名、菊武ビジネス専門学校が 128 名、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が 153 名で学園全体の入学者数は、1,077 名となりました。

平成 31 年 4 月の在籍者数は、大学が 571 名、短大が 348 名、高校（全日制・通信制）が 1,253 名、幼稚園が 216 名、菊武ビジネス専門学校が 388 名、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が 279 名となり、学園全体の在学生総数は前年度より 12 名少ない 3,055 名となりました。

2. 令和元年度のその他の事業概要

【学園本部】

令和元年度は、菊武夏祭りと例年例月の学園研修を実施しました。

4 月：「令和元年度の学園の教育・運営方針と新年度の目標値説明、各部門の新年度基本方針発表」

その後、「コーヒーブレイクでの懇親会」

6 月：スポーツ交流「ストレッチヨガとソフトバレーボール大会」

8 月：「菊武夏まつり」

9 月：「アサーティブコミュニケーション能力を高める」の講演とワーク

1 月：「賀詞交換と発達障害の講演」と「甘酒&お餅懇親会」

「発達障害と合理的配慮」（名古屋産業大学 栗野理恵子准教授）

「発達障害者の行動の理解と二次障害について」（名古屋経営短期大学 木村琢磨講師）

3 月：「菊武学園懇親会」（新型コロナウイルスの感染拡大で中止）

【名古屋産業大学】

大学ではビジネストレーニングプログラムを中心とした実践的な教育を展開し、学生一人一人の個性にあったキャリア支援を行いました。また公務員自主研究会から 5 名が公務員試験に合格するなど地道な努力を継続することで着実に結果を残してきました。クラブ活動においてもサッカー部の 1 部リーグ昇格や、ウェイトリフティング部の国際的な活躍などの実績を重ねました。これらの活躍が入試広報にも好影響を与え、300 名を超える出願を集めることができました。

主な行事

- 4月：入学式、学外オリエンテーション、スポーツ大会
- 6月：田んぼアート（JA,尾張旭市と連携）
- 8月：四短教職員合同 FD/SD 開催
- 10月：大学祭、インターンシップ合同報告会、教育懇談会
- 12月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ、環境フォーラム
- 1月：卒業研究発表会
- 3月：学位記授与式

課外活動

<ウエイトリフティング部>

- ・5/29～6/7 2019年世界ジュニアウエイトリフティング選手権大会(フィジー共和国スヴァ市)
男子 55kg 級 第3位 山口 優人 (1年)
- ・5/25 2019年度第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会
2019年度第33回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会(岩手県奥州市)
男子 81kg 級 第3位 山門正宜 (大学院)
女子 64kg 級 第1位 山本真鼓 (大学院)

<サッカー部>

- ・東海学生サッカーリーグ戦(2部)優勝、1部昇格決定

主な就職先

JA あいち豊田、名古屋トヨペット、住友林業ホームサービス(株)、三重日野自動車(株)、(株)新潟クボタ、ブリジストンリテールジャパン(株)、近畿日本鉄道、愛知県警など

【名古屋経営短期大学】

短大では3学科それぞれが特徴を活かし、実践的な教育活動を行いました。グリーンシティケーブルテレビとタイアップした市民講座の開催をするなど地域連携を一層強化させるとともに、保育園の運動会、医療・介護施設でのボランティア活動等を通じて学生一人一人のキャリア形成につなげています。

学生募集においては、未来キャリア学科では120名を超える出願数を集めることが出来たものの、子ども学科と健康福祉学科では定員を下回っているため、引き続き学科の内容充実と学生募集の強化に取り組んでいきます。

主な行事

- 4月：入学式、新入生宿泊オリエンテーション
- 5月：スポーツ大会、学内合同福祉説明会
- 8月：四短教職員合同 FD/SD 開催

- 10月：大学祭、教育懇談会
- 11月：介護の日イベント、紅茶フェスティバルへの参加
- 12月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ、子ども学科クリスマス会
- 3月：学位記授与式

主な就職先

(株)JR 東海パッセンジャーズ、豊川信用金庫、TBC グループ、海上自衛隊、名古屋観光ホテル、JA とうと、
(株)コーセー、(株)JSS、尾張旭市（保育職）、小牧市(保育職)

【菊華高等学校】

平成 31 年度（令和元年度）は、学園の建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を基本に生徒一人ひとりが持っている個性を伸ばし、学力はもとより心身ともに健全で調和のとれた人間を育てるため教職員が生活面の指導と、教科面の学力向上に一致団結して取り組み、社会貢献のできる人材を育ててきた。生徒には明確な目的意識を持たせ、意欲的に学習や諸活動に取り組みさせて充実した高校生活を送れるよう、より「わかりやすい授業」の展開と授業内容の弾力的な編成を行い、生徒一人ひとりの学力と個性に合わせた個別指導にも力を注いできた。その結果、実力試験でのデータでは全体的な学力の向上が見られ一定の成果が得られた。

重 点 取 組

- 生徒の学力向上を目指し、各教科で授業改革を実施し生徒に対して「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさ」を実感させる生徒主体の授業づくりに取り組んだ。また ICT 教育に力を入れるべくリクルートのスタディーサプリを導入し家庭学習を充実させた。
- 進路指導については、キャリア教育推進委員会を立ち上げ、キャリア教育の一環としてインターンシップの促進に取り組み 100 名を目標に生徒を職場体験に出すよう企業の受け入れ先の開拓をし、目標を大きく上回る人数を達成した。また、進学する生徒に授業後や長期休業中の補習体制を整え充実した進路指導により、生徒の希望する進学先へ繋げた。また、就職希望者の就職率は 100%を達成。
- 生徒募集に関しては平成 30 年度入学生が 292 名と 300 名を割ってしまったので、教職員全員が渉外活動に全力を尽くすよう中学生対象の体験会や説明会において、学校の魅力を最大限 PR できる知識を持ち広報活動に邁進した。しかし様々な原因によって、平成 31 年度入学生は 277 名と更に減少してしまった。
- 生徒指導は集団生活を通して社会人の基本である、規範意識・マナー・挨拶・言葉使い等を常に意識をさせ自覚させる指導をした。また、教員と生徒が相互に人として尊重し合い良好な人間関係を築き生徒に自信とやる気を持たせ積極的に学校生活を送れるように支援をした。
- 転・退学の人数を減らすため、主な原因である長期欠席者の減少を目指し、生徒へのきめ細かい指導と外部カウンセラーの協力により家庭の事情や心の病などを早期に見つけて欠席の初期の時点でケアをしてきた。

主な学校行事

- 4月 入学式、1年生校外オリエンテーション合宿（車山高原）、交通安全講習、
携帯・スマホ安全利用講習
- 5月 PTA 総会、後援会総会、1年保育・福祉コース保育園実習、保護者対象進路説明会
- 6月 PTA 研修会（伊勢）
- 7月 保護者会、2年姉妹校訪問、中学生将棋選手権大会
- 8月 中学生対象「夏の学校体験会」、保育・福祉コース介護実習
- 9月 学校祭（体育祭・文化祭）
- 10月 中学生対象「秋の学校体験会」、後援会研修会（信州）
- 11月 2年修学旅行（沖縄）、1.2年遠足、中学生対象学校説明会
- 12月 保護者会、中学生対象学校説明会
- 1月 3年スポーツクラス スキー合宿（車山高原）、3年アクトクラス卒業公演（守山文化小劇場）
- 2月 3年生を送る会、1・2年生アクトクラス生徒オーディション、3年保育・福祉コース卒業研修
3年情報ビジネス科テーブルマナー（蒲郡クラシックホテル）、卒業式

課外活動

- 4月 （ソフトテニス女子）高校総体予選名古屋北地区 優勝 団体・個人 県大会出場
（サッカー）名古屋北支部大会 優勝
- 5月 （ソフトテニス女子）高校総体 県大会 団体ベスト4・個人 東海大会出場
- 6月 （ダンス）中日本大会スモールクラス 準優勝
- 7月 （卓球）国民体育大会 個人 県大会出場
- 8月 （ダンス）全日本高校ダンスフェスティバル 創作コンクール部門 入選
（ダンス）全国ハイスクールダンスコンペティション 第3位
- 9月 （野球）秋季大会 県大会出場
（サッカー）全国高校サッカー選手権大会 県大会出場
（ソフトテニス女子）新人大会 名古屋北地区 団体 優勝 個人 県大会出場
（陸上）新人大会 4種目 県大会出場
- 10月 （ソフトテニス女子）新人大会 県大会 準優勝 東海大会出場
（箏曲）私学連合音楽会出演・守山自衛隊祭り出演
（ダンス）守山区民祭り・守山自衛隊祭り出演
- 12月 （ダンス）自主公演

【菊武ビジネス専門学校】

令和元年度は、入学者180名を確保するために、「就職・進学100%保証」をテーマとして他校との差別化に取り組みました。また、一人一人の社会的・職業的自立（キャリア教育）に向け、挨拶をすることの

大切さ、時間を守ることの大切さ、その場に応じた身だしなみや言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付けさせる取り組みをしました。

重点的な取り組み

1. 就職・進学100%保証を掲げ、それらを推進するために、優良企業に足を運んで求人確保や新規開拓企業の求人確保に努めた結果、求人数がアップしました。
2. 多様化する入学生に寄り添い、その保護者の安心感を得るため、24名の教職員が、2級心理カウンセラーの資格取得にチャレンジし資格登録しました。
3. 基礎基本を重視した授業内容で、生徒のやる気を生み出しつつ、多くの生徒が、検定試験にチャレンジしました。
4. 中途退学率の低減化に取り組むため、生徒に寄り添うことを念頭に、生徒のちょっとした変化に目を配ることで、教員間の情報の共有は勿論のこと、本人への声掛け、保護者との情報交換、早期家庭訪問、保護者懇談を実施しました。

主な学校行事

- 4月：1年生スマホ安全教室、3年生進路オリエンテーション
- 5月：1年生オリエンテーション合宿（休暇村伊良湖）、2・3年生校外学習（ナガシマ・スパーランド）、専門課程オリエンテーション合宿、避難訓練、PTA委員会、総会、専門課程准教員資格取得講習
- 6月：姉妹校訪問、
- 7月：ドッジボール大会、保護者懇談会、専門課程特別教養講座（金融講座、陶芸体験）、中学生対象パソコン入力スピードコンテスト、PTA委員会
- 8月：東北ボランティア、サマーキャンプ（あいち県民の森）
- 9月：東区防災訓練ボランティア、就職激励会、高岳児童館まつりボランティア
- 10月：高等専修学校展参加、文化祭、なごやかまつりひがしボランティア、体育祭
- 11月：文化のみちイベント参加、2年生修学旅行（北九州）
- 12月：3年生京都旅行、1年生校外学習（市科学館）、専門課程神戸旅行、映画鑑賞会、スノーボードスクール（北志賀竜王スキーパーク）
- 2月：愛知県ワープロ競技新人大会、3年生を送る会
- 3月：専門課程・高等課程卒業式

【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

元年度も「美力向上」をテーマに以下の4項目に取り組みました。

- 1) 学生収容数値目標 180名（B科100名 F科50名 TB科30名）
- 2) 学校モットーの明確な打ち出し 「誰かの笑顔が、私の幸せ」
- 3) 他校との差別化 B科F科「歴史」
- 4) 退学率の低下 目標値 3.0%

主な学校行事・教育活動

- 4月：新年度教職員全体会議、校内企業説明会、グリーンデザイン（星ヶ丘テラス/花壇植え込み）、業界研究（ホテルウェディング式場見学）等
- 5月：業界研究（式場見学とフレンチマナー研修）、園芸実習（名港花き地方卸市場見学）、ガーデニング（ポートメッセなごや/ガーデン設営）、ランドスケープデザイン（フラリエ）等
- 6月：造園実習、業界研究、模擬結婚式3回、ガーデニング（名古屋市市役所花壇施行）、サービス接遇検定等
- 7月：造園実習、模擬結婚式、造園検定試験、パーソナルカラー検定、フラワー装飾試験、園芸装飾試験等
- 8月：模擬結婚式、トータルビューティサロン運営
- 9月：造園実習、ウェディングケーキ実習、ショップ実習（資材メーカー「東京堂」見学）等
- 10月：総合講座（仏式式学習/名古屋別院）、ランドスケープデザイン（名古屋城）、ガーデニング（花フェスタ記念公園見学）、校内模擬結婚式、文化祭、校内フラワーショップ（12月まで営業）等
- 11月：技能五輪大会フラワー装飾部門出場（愛知県/セントレア国際会議場）、総合講座（神前式学習/熱田神宮）、本物の結婚式、ガーデニング（日本庭園見学）等
- 12月：卒業研修旅行（ハワイ、ロサンゼルス、沖縄）、ブライダル研修（八ヶ岳リゾートナーレ）、本物の結婚式、ガーデニング（京都）、パーソナルカラー検定等
- 1月：ブライダルコーディネーター検定、ガーデニング（名古屋市市役所花壇デザイン）、本物の結婚式
- 2月：卒業作品展（ナディアパーク）、模擬結婚式2回等

【菊武幼稚園】

創立50周年の節目として、「徳育・体育・知育」の3つを軸に「仲良く遊ぶ子、心も体も強い子、よく見よく聞く考える子」ひいては「自信を持って小学校に進学できる子」を育てるため、〈感動ある行事の実現〉に取り組みました。

主な学校行事

- 4月：4月生まれ誕生会、こどもの日の集い
- 5月：年長防煙教室、歯科検診、春の親子遠足(落合公園)、5月生まれ誕生会、オレンジライダー来園、内科検診
- 6月：50周年記念航空写真撮影、避難訓練・起震車体験、交通安全指導、6月生まれ誕生会、50周年記念式典・音楽鑑賞会(春日井市民会館)
- 7月：七夕参観、お楽しみ会、7月生まれ誕生会、50周年記念品(クリアファイル)配付
- 8月：夏期特別保育、8月生まれ誕生会、菊武夏まつり参加
- 9月：避難訓練、保育参観、9月生まれ誕生会

- 10月：運動会、秋の遠足(朝宮公園)、10月生まれ誕生会、春日井まつりパレード、
幼年消防クラブ発表
- 11月：芋掘り、交通安全指導、11月生まれ誕生会
- 12月：生活発表会、12月生まれ誕生会、クリスマス会
- 1月：新年こども会、交通安全指導、避難訓練、1月生まれ誕生会、
年長青空教室、豆まき
- 2月：ふれあい参観(お店屋さんごっこ・作品展)、2月生まれ誕生会、
年長卒園遠足(名古屋市科学館)、
- 3月：ひなまつりの集い、3月生まれ誕生会、
新型コロナウイルスによる臨時休園(3/3~19)

【稲葉保育園】

「笑顔」をテーマに「心身ともにたくましく、よく遊ぶ子の育成と職員の資質向上」を目標に毎月様々なことに取り組みました。

主な行事

- 4月：入園式、サッカーボールで遊ぼう、内科検診、運動遊び、身体計測、誕生日会、お花で遊ぼう、
災害訓練、防犯訓練、子どもの日を祝う会
- 5月：歯科検診、身体計測、緑のカーテン苗付、運動遊び、お花で遊ぼう、園外保育、誕生日会、田
植え、災害訓練、防犯訓練、菊華高校保育実習、名古屋経営短期大学3年制との交流、保育士
研修として「熱中症対策講演会参加」、「言語聴覚士による研修参加」、「ドキュメンテーション
講演会参加」
- 6月：保育参観、眼科検診、誕生日会、交通安全教室、食育巡回指導、身体計測、運動遊び、救急救
命講座、さつまいも苗付、サッカーで遊ぼう、お花で遊ぼう、遊びの広場、災害訓練、防犯訓
練、保育士研修として「臨床心理士から発達スケールを学ぶ」、「わらべ歌研修」「遊びの研修会
参加」
- 7月：プール開き、サッカーボールで遊ぼう、七夕制作、七夕会、花で遊ぼう、誕生日会、災害訓練、
防犯訓練、クラス懇談会(未満児)、給食監査、身体計測、台湾育達科技大学学生との交流、
運動遊び、保育士研修として「遊びの研究会」、「保育所長セミナー4」に参加
- 8月：災害訓練、防犯訓練、プール参観、誕生日会、身体計測、運動遊び(プール遊び)、夏の演奏会
(西中吹奏楽部)、職員研修として「調理員研修」、「ヘキサスロン研修」、「保育合研」に参加
- 9月：粘土遊び、サッカーボールで遊ぼう、花で遊ぼう、ふれあい会、災害訓練、防犯訓練、誕生日
会、身体計測、運動遊び、保育士研修として「療育支援研修」、「保育環境改善セミナー」参加
- 10月：内科検診、身体計測、稲刈り、運動会、芋掘り、花で遊ぼう、災害訓練、防犯訓練、運動遊び、
リコーダー演奏会、菊華高校保育実習、音遊び、中学校職場体験、保育士研修として「臨床心理
士からサポート児の支援を学ぶ」

- 11月：おにぎりパーティー、サッカーボールで遊ぼう、お花で遊ぼう、災害訓練、防犯訓練、修園遠足、園外保育、入園面接、運動遊び、菊華高校訪問、音遊び、けん玉遊び、中学校職場体験、保育士研修として「発達の特徴を学ぶ」
- 12月：花もち作り体験、植樹祭記念植樹、ミカン狩り、身体計測、クリスマス会、災害訓練、防犯訓練、運動遊び、けん玉遊び、お花で遊ぼう、菊華高校有志お楽しみ会、クリスマスマーケット参加、音遊び、保育士研修として「リスクマネジメント研修」参加
- 1月：粘土遊び、親子陶芸、災害訓練、防犯訓練、身体計測、誕生日会、音遊び、凧作り、お花で遊ぼう、けん玉遊び、サッカーで遊ぼう
- 2月：節分会、保育参観、歯磨き指導、おこしもの作り、給食センター親子訪問、災害訓練、防犯訓練、身体計測、音遊び、けん玉遊び、お花で遊ぼう、保育士研修「室内の環境構成を学ぶ①」
- 3月：ひな祭り会、園外保育、災害訓練、防犯訓練、誕生日会、卒園式、入園説明会（個別対応）、けん玉遊び、お花で遊ぼう、保育士研修「室内の環境構成を学ぶ②」

3 令和元年度の主な契約

【名古屋産業大学】

出欠情報取扱システム保守契約、
 ガスヒーポン保守契約、
 図書館システム保守契約、
 キクタケスポーツヒルズサッカー場防球ネット張替修繕工事請負契約、
 野球部雨天練習場改装工事請負契約、
 ネットワークシステムリース契約、
 浄化槽処理施設保守管理請負契約、
 陽光館冷暖房機器等保守に関する契約、
 受水槽・高架水槽清掃管理請負契約、
 大学・短大校舎冷暖房機器等保守契約、
 野球場マシン置場コンクリート打設工事請負契約、
 小型業務用ガス需給契約、
 2号館パソコン教室屋上防水工事請負契約、
 食堂券売機賃貸借契約、
 食堂業務委託契約、
 トレンドマイクロ TRSL ウイルスバスターコーポレートエディション Plus 売買契約
 産業廃棄物収集・運搬及び処分委託契約、
 マイクロソフトスクールアグリーメント売買契約、
 小型・中型バスリース契約、食堂ボタン式券売機売買契約

【名古屋経営短期大学】

4号館冷暖房機器等保守に関する契約、
243教室エアコン交換工事請負契約、
愛知県雇用セーフティネット対策訓練（委託訓練）契約

【菊華高等学校】

第1情報処理教室PC設定及び再構築リース契約、
第2グラウンド南側自転車置き場用校地売買契約、
電話設備リース契約
自転車置き場用校地媒介契約、
野球部新寮2階間仕切り工事請負契約、
学校案内パンフレット制作請負契約、
リコー製印刷機保守契約、
スポーツロッカー売買契約、
学費システム用サーバー保守契約、
本館屋上防水工事請負契約、
電灯低圧配電盤改修工事請負契約、

【菊武幼稚園】

通園バス再リース契約、
音楽・絵画造形・サッカー教室施設利用契約、
水泳指導業務委託契約

【菊武ビジネス専門学校】

3M教室シンククライアントシステムリース契約、
学校システム保守契約、
複写機リース契約

【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

ドレスルームリニューアル工事請負契約、
生花用スライド扉冷蔵庫リース契約、
階段非常灯取替工事請負契約、

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

当年度の決算について、前年度決算と比較しながら若干の説明を付してその概況をご報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算書

(資金収入の部)		(単位：千円)		
科 目	30 年度決算	1 年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,713,654	1,775,512	61,858	学納金単価の高い部門の入学者数・在籍者数が増えましたので、学納金が増えました。
手数料収入	26,684	32,028	5,344	入学検定料免除の受験者が減少し、検定料収入が増えまし。
寄付金収入	5,737	3,815	△1,922	一般寄付が減少した分減少。
補助金収入	638,869	591,163	△47,706	補助金の算定方法変更で国及び地公体の一般経常費補助金が減少、県の施設整備補助金もなくなり全体で大幅減少となりました。
資産売却収入	200,001	2	△199,999	
付随事業・収益事業収入	13,664	11,163	△2,501	県の介護人材確保事業による短大での職業訓練生の受入れが減少し、減少しました。
受取利息・配当金収入	8,731	9,279	548	
雑収入	46,470	91,353	44,883	県の退職金財団に加入の永年勤務者の退職により多額の交付金が交付されたため増加となりました。
前受金収入	443,069	547,865	104,796	
その他の収入	253,914	87,476	△166,438	前期末未収入金収入の増加幅が引当特定預金の取崩収入の減少幅を大きく下回ったため大幅減少となりました。
資金収入調整勘定	△513,083	△537,931	△24,848	
当年度資金収入合計	2,837,710	2,611,725	△225,985	
前年度繰越支払資金	1,245,179	1,225,348	△19,831	
収入の部合計	4,082,889	3,837,073	△245,816	

(資金支出の部)		(単位：千円)		
科 目	30 年度決算	1 年度決算	差 異	
人件費支出	1,639,088	1,664,295	25,207	教員人件費減△15 百万円、職員人件費減△9 百万円、退職金支出増 49 百万円で人件費支出増 25 百万円。
教育研究費支出	452,136	452,304	168	大学に新学科を設置するための事業委託で10 百万円の経費増となりましたが、70 周年事業費 17 百万円がなくなったため 7 百万円の減。
管理経費支出	218,616	211,846	△6,770	
借入金等利息支出	990	660	△330	借入金等返済は、新規借入が無く、返済の進行で毎年度減少しています。
借入金等返済支出	43,212	34,439	△8,773	
施設関係支出	198,725	93,968	△104,757	昨年の高校・専門学校の校舎耐震化工事大学の新学科専用教室増築工事がなくなりましたので大幅に減少しました。
設備関係支出	37,710	52,263	14,553	
資産運用支出	290,063	30,000	△260,063	昨年あったような運用資産 2 億の洗替が今年度はありませんでしたので大幅減少となりました。
その他の支出	53,051	74,199	21,148	
資金支出調整勘定	△76,050	△136,820	△60,770	今期は退職者が多く、期末未払金となる退職金の支払いが増えました
当年度資金支出合計	2,857,541	2,477,154	△380,387	
次年度繰越支払資金	1,225,348	1,359,919	134,571	
支出の部合計	4,082,889	3,837,073	△245,816	

(2) 活動区分資金収支計算書

		(単位 千円)	
科 目		金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	1,775,512
		手数料収入	32,028
		一般寄付金収入	3,815
		経常費等補助金収入	589,447
		付随事業収入	11,163
		雑収入	91,315
		教育活動資金収入計	2,503,280
	支出	人件費支出	1,664,295
		教育研究費支出	452,304
		管理経費支出	211,845
		教育活動資金支出計	2,328,444
	差引	174,836	
	調整勘定等	136,832	
	教育活動資金収支差額	311,668	
施設設備活動	収入	施設設備補助金収入	1,716
		施設設備売却収入	2
		施設設備等活動資金収入計	1,718
	支出	施設関係支出	93,968
		設備関係支出	52,263
		施設設備等活動資金支出計	146,231
	差引	△ 144,513	
	調整勘定等	19,514	
	施設設備等活動資金収支差額	△ 124,999	
	小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	186,669	
その他の活動による資金収支	収入	受取利息・配当金収入	9,278
		過年度修正収入	38
		預り金受入収入	7,229
		特別研究特定預金より繰入収入	63
		仮受金受入収入	10
		立替金回収収入	25
		長期貸付金回収 収入	120
		その他の活動資金収入計	16,763
	支出	借入金等利息支出	660
		借入金等返済支出	34,439
		高校施設整備引当特定預金へ繰入支出	20,000
		菊専校地購入引当特定預金へ繰入支出	10,000
		預り金支払支出	3,709
		仮受金支払支出	53
		その他の活動資金支出計	68,861
		差引	△ 52,098
その他の活動資金収支差額	△ 52,098		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	134,571		
前年度繰越支払資金	1,225,347		
翌年度繰越支払資金	1,359,918		

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

項 目	(単位 千円)			
	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設設備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受け金収入	547,865	547,865	0	0
— 授業料 前受金 収入	241,941	241,941	0	0
— 入学金 前受金 収入	173,164	173,164	0	0
— 施設充実費前受金収入	39,262	39,262	0	0
— その他の前受金 収入	93,498	93,498	0	0
前期末未収入金 収入	80,030	80,030	0	0
資金収入調整勘定	△ 537,931	△ 537,931	0	0
期末 未収入金	△ 94,863	△ 94,863	0	0
前期末 前受金	△ 443,068	△ 443,068	0	0
収 入 計	89,964	89,964	0	0
前期末未払金支払支出	51,962	51,962	0	0
前払金支払支出	2,820	2,820	0	0
期末長期未払金支払支出	15,334	0	15,334	0
資金支出調整勘定	△ 136,498	△ 101,650	△ 34,848	0
期末未払金	△ 99,659	△ 99,659	0	0
期末長期未払金	△ 34,849	0	△ 34,849	0
前期末 前払金	△ 1,991	△ 1,991	0	0
支 出 計	△ 66,382	△ 46,868	△ 19,514	0
収入計 - 支出計	156,346	136,832	19,514	0

(3) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算について資金収支計算と重複する部分は省略し、資金収支計算で説明していない部分の説明を加えてその内容をご報告いたします。

(単位：千円)

		(3) 科目	30年度決算	1年度決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,713,654	1,775,512	61,858	入学検定料、証明手数料は増加しましたが、試験料が減少しました。
		手数料	26,716	32,066	5,350	特別寄附、現物寄附、一般寄附全てが減少しました。
		寄付金	6,815	4,468	△2,347	算定方法の変更で国庫補助金が12百万円の減、在籍者数の減少と算定方法の減少で地公体補助金が9百万円程の減となりました。
		経常費等補助金	610,862	589,448	△21,414	
		付随事業収入	13,664	11,163	△2,501	
		雑収入	45,822	91,530	45,708	幼稚園の預かり保育の収入が施設等利用給付費収入として新しく加りましたが、受託事業収入(県の介護人材確保事業)が職業訓練生の受け入れが減少し、付随事業収入トータルで減少。
		教育活動収入 計	2,417,533	2,504,187	86,654	
	事業活動支出の部	人件費	1,646,660	1,664,911	18,251	一般経費は増加分と減少分がほぼ同額でトータルで前年度並みとなったが減価償却額が増加した分増加となりました。
		(うち退職金関係)	(40,003)	(82,196)	(42,193)	
		教育研究経費	713,533	720,173	6,640	大学で新学科設置を構想し、コンサルを導入したため委託料が10百万増えましたが、昨年あった周年事業費が17百万減りましたのでトータル7百万の減。
		(うち減価償却費)	(261,252)	(267,842)	(6,590)	
		管理経費	244,782	237,667	△7,115	
		(うち減価償却費)	(26,121)	(25,779)	(△342)	
		徴収不能額等	398	63	△335	
教育活動支出 計	2,605,373	2,622,814	17,441			
教育活動収支差額			△187,841	△118,627	69,214	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	8,730	9,278	548	低金利政策下安全・有利な資金運用は難しく、受取利息・配当金は、少ししか増えませんでした。
		教育活動外収入 計	8,730	9,278	548	
	支出の部	借入金等利息	990	660	△330	借入金が返済一方のため支払利息も減少一方です。
		教育活動支出 計	990	660	△330	
教育活動外収支差額			7,740	8,618	878	
経常収支差額			△180,100	△110,009	70,091	昨年度は高校の体育館耐震改修工事で県から施設設備整備資金補助金25.6百万を頂きましたが、今年度はそれがありませんので同額減少しました。
特別収支	収入の部	資産売却差額	1	2	1	昨年度は高校の体育館改修工事で未償却部分の処分損が発生しましたが、今年度はそれがありませんので同額減少となりました。
		その他の特別収入	29,207	3,521	△25,686	
		特別収入 計	29,208	3,523	△25,685	
	支出の部	資産処分差額	5,188	1,663	△3,525	
		特別支出 計	5,188	1,663	△3,525	
特別収支差額			24,020	1,860	△22,160	
基本金組入前当年度収支差額			△156,080	△108,149	47,931	
基本金組入額合計			△33,919	△65,916	△31,997	
当年度収支差額			△189,999	△174,065	15,934	

貸借対照表

(4)

貸借対照表について、前年度からの増減の主なものの説明を付してご報告いたします。

科 目		30年度決算	1年度決算	差 異	
資 産	固定資産	12,683,542	12,566,701	△116,841	有形固定資産は大型投資があったものの除却額も大きく、新規取得額が(減価償却額+除却額)を上回らなかったため簿価減少。
	有形固定資産	10,691,267	10,544,645	△146,622	
	特定資産	1,970,063	2,000,000	29,937	高校の施設整備引当特定資産 20 百万円、菊専の校地購入引当特定資産 10 百万円、大学の特別研究特定資産△63 千円
	その他の固定資産	22,212	22,056	△156	
流動資産	1,327,235	1,477,590	150,354	期末退職者に対する退職金財団交付金が未収入金となり未収入金が 15 百万増、現金預金が 135 百万の増。	
合 計	14,010,777	14,044,290	33,513		

科 目		30年度決算	1年度決算	差 異	
負 債	固定負債	426,251	416,382	△9,869	長期借入金 30 百万の減、長期未払金 19.5 百万増、退職給与引当金 0.6 百万増
	流動負債	667,031	818,562	151,531	
計		1,093,282	1,234,944	141,662	短期借入金 4 百万減、未払金が 47 百万増、前受金 105 百万増、預り金 3 百万増減で合計 151 百万ほど増加しました。
基 本 金		18,031,444	18,097,360	65,916	
事業活動収支差額の部合計		△5,113,949	△5,288,014	△174,065	1号基本金 35 百万増、2号基本金 30 百万増、4号基本金 1 百万増。
合 計		14,010,777	14,044,290	33,513	

(参考)

正 味 資 産	12,917,495	12,809,346	△108,149
---------	------------	------------	----------

※ 正味資産=資産-負債 (=基本金+事業活動収支差額)

減価償却額の累計額	7,400,152	7,571,241	171,089
-----------	-----------	-----------	---------

1. 借入金の状況

当学園の借入金は下表のとおりです。平成 22 年度より愛知県私学振興事業財団から授業料軽減のための新規の借入をすることがなくなり、授業料軽減借入金は毎年減少してきていましたが、菊華高校で最後の授業料軽減借入金¥4,439,079 の返済をしましたので、愛知県私学振興事業財団からの借入金は無くなり、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金¥30,000,000 を残すのみとなりました。

(借入金明細表)

(単位：千円)

借 入 先	30年度末残高	1年度末残高	増 減	摘 要
日本私立学校振興・共済事業団	60,000	30,000	△30,000	キタクスポーツビルズ 取得資金
愛知県私学振興事業財団	4,439	0	△4,439	愛知県より全額補填あり

合	計	64,439	30,000	△34,439	
---	---	--------	--------	---------	--

2. 学校債の状況

当学園は、学校債を発行いたしておりません。

3. 寄付金の状況

当学園に対する寄付金は平成 30 年度 7,121 千円でありましたが令和元年度は 6,235 千円でした。特別寄附、現物寄附、一般寄付金の何れも減少しました。

IV. 決算期後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当する事実はございません。

V. 対処すべき課題

「年々厳しくなる学生・生徒・園児募集にどれだけ成果を挙げられるか？」言い換えれば「各部門が自立に必要な収入を安定的に確保すること」が対処すべき最優先課題であることに変わりありません。大学の現代ビジネス学部経営専門職学科を新設する認可を受ける事とそれを大学の入学定員充足の起爆剤にしていくこと並びに短大・高校・幼稚園の入学者数を計画目標数迄引き上げることが喫緊の課題です。